

本部委員会の審議内容

第5回 利用促進委員会 (R4.10.19)

令和4年度第5回利用促進委員会は、輸送品質向上委員会との「本部委員会合同企画」として、東京都江東区辰巳のMujinロボットイノベーションセンター、東京都品川区八潮のJR貨物東京貨物ターミナル駅及び東京レールゲートを訪れた。

見学会においては、輸送品質向上委員会からは和田委員長をはじめ委員10名の参加をいただき、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大型バス2台に分乗して、総勢33名での開催となった。

1. 本部委員会合同企画

A. Mujinロボットイノベーションセンター

最初に営業本部物流営業部西藤様より、ご挨拶に続き、同社のコンセプトである物流・製造現場向けに、「見て・考えて・取って・置く」を自動化する智能ロボットと柔軟な搬送を実現するAGVを組み合わせたソリューションと施設概要等について、パワーポイントを使用して説明をいただいた。施設の見学は、大人数ということもあり見学グループを4つに分けて、グループごとに間隔を空けて見学を実施した。その後、活発な質疑応答がなされ見学を終了した。



B. 東京貨物ターミナル駅・東京レールゲート(WEST)

最初にバスにて東京レールゲート屋上に移動し、屋上からの東京レールゲート周辺及び6階の見学を実施した。その後、昼食休憩と利用促進会議を挟み、東京貨物ターミナル

駅の和田駅長よりご挨拶をいただき、駅概要についての説明を受けた。概要説明後、駅屋上より駅全体の見学をした。





C. 養生機能を施したコンテナ

東京貨物ターミナル駅フォークリフト訓練場において、当協会コンテナ3基(養生機能を施したコンテナ、防振コン

テナ、31ftウイングコンテナ)の視察及び意見交換会を実施した。



2. 利用促進委員会

委員会審議においては、年間テーマ「荷主企業の各種サービスに対するニーズなどに関する調査研究」とサブテーマ

「物流の2024年問題の影響などに関する調査研究」の中間報告がなされ、審議を終了した。

第5回 輸送品質向上委員会 (R4.10.21)

令和4年度第5回輸送品質向上委員会は、場所を通運会館に変更し開催された。例年、10月の輸送品質向上委員会では「年間テーマ」の結果報告が行われていたが、本年度は、10月19日に開催された第5回利用促進委員会との合同企画で「養生機能を施したコンテナ」の見学が実施され、多くの意見が寄せられたことから、これも反映させることとし、11月18日に開催予定の第6回輸送品質向上委員会での報告に変更となった。

1. 年間テーマ

「養生機能を施したコンテナの開発・検証」
10月19日の見学会で寄せられた意見等についての報告がされた。

A. 操作性に関する意見

- ・第1回改造に比べ、明らかに可動性が良くなった。
- ・扱いやすく、操作性に問題はないと思う。

B. 構造に関する意見

- ・テILT側の仕切り構造を早く設置し、検証して欲しい(いくつかのアイデア・提案もあった)。
- ・仕切りが多いことで、重量や使い勝手が問題になることも考えられるので、仕切りは2枚だけで良いのではないかと。
- ・可動部分のレールの強度に不安がある。
- ・床面レールの目詰まりが懸念される。
- ・レールをひとつにまとめることができれば、軽量化できるのではないかと。

C. その他の意見

- ・床面のレールのどこにでも、ラッシングベルトが掛けられ

るようになってるのが良い。

- ・早く実証実験をして欲しい。実際に輸送してみて、構造部に異常が発生しないか、輸送品質に問題がないか確認した方が良い。

2. サブテーマ

「防振装置搭載鉄道コンテナの実用化に向けた検証調査Ⅲ」これまで実施した3回の試験輸送について、概要と加速度統計値比較が報告された。

なお、4回目として予定していた試験輸送がキャンセルとなってしまったため、新たな協力先を探していることも報告された。

A. 第1回

- (1) 輸送区間
松山貨物駅～札幌貨物ターミナル駅
- (2) 輸送品
食品 約2,000kg

B. 第2回

- (1) 輸送区間
越谷貨物ターミナル駅～百済貨物ターミナル駅
- (2) 輸送品
電子部品(ダミー) 約3,620kg

C. 第3回

- (1) 輸送区間
酒田港駅～福岡貨物ターミナル駅
- (2) 輸送品
飲料 約5,000kg